

令和8年8月吉日

2026国際総合空手道 第43回全日本空手道選手権大会

ご 案 内

拝啓

平素より本連盟に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度2026国際総合空手道 第43回全日本空手道選手権大会を本年もひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）を会場とし、全国・海外から選りすぐりの選手を迎え開催する運びとなりました。つきましては今大会をより充実したものにする為、各位の特段のご協力を賜り、一層の成果をおさめたいと存じますので宜しくご支援下さります様お願い申し上げます。

敬具

国際総合空手道連盟

会長 花元浄一

記

【会場】 ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）3階 メインアリーナ
（東京都墨田区錦糸4丁目15-1 錦糸公園内）

【日時】 2026年12月6日（日）

【開場】 8：30 【選手受付】 9：30

【開会式】 10：00 【競技開始】 10：30

以上

大会参加要項

【問い合わせ】

【日時】 令和8年12月6日（日）

【選手受付】 9：30（受付は道場・団体毎に行います）

【会場】 ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）3階 メインアリーナ
（東京都墨田区錦糸4丁目15-1 錦糸公園内）

【交通】 JR総武本線 錦糸町駅 北口より徒歩6分
（駐車場に限りがございます。駅より近いので公共交通機関をご利用下さい。）

【主催】 国際総合空手道連盟

【出場資格】 所属団体の流派・会派は問いません。（オープントーナメント）・大会ルールを遵守する事・
健康である事・級段位を詐称しない事。※プロ興業選手の参加は出来ません

【大会ルール】 別紙『国際総合空手道連盟 競技規定』を参照下さい。

【表彰】 各部門 3名以下は優勝のみにメダル・賞状授与。
7名以下は優勝・準優勝のみにメダル・賞状授与。
8名以上は優勝・準優勝・三位（2名）にメダル・賞状授与。※各種目最優秀選手賞有り

【参加費】 ＊中学生以下：7,000円 ＊高校生以上：8,000円（パンフレット・保険含む）
（複数エントリーは、上記参加費用プラス1種目2,500円）

※組手と組手のダブルエントリーは不可。組手・形・古武道（ショート・ロング）の4エントリーまで認めます。

【支払方法】 参加費は下記口座にお振り込み下さい。（締切厳守）

※一度申込まれた参加費は原則返金できません。又、申込み締切を過ぎての参加者側の事由による返金はありませんのでご了承下さい。

【銀行名】 三菱UFJ銀行

【支店】 鎌倉支店

【店番】 255

【口座番号】 普通口座 0086641

【口座名義】 国際総合空手道連盟 会長 花元浄一

※道場団体名（責任者名）を忘れずにお問い合わせ致します。

【申込方法】 申込書に必要事項をご記入の上、道場毎にまとめて締切日までに大会事務局宛にご郵送下さい。

【申込・問い合わせ先】 〒249-0002 神奈川県逗子市山の根3-1-1
国際総合空手道連盟 総本部事務局 宛
TEL・FAX：046-874-4305
メール：kokusouren.iskf@gmail.com

申込書締切：令和8年10月1日（木）必着 ※厳守
参加費振込締切：令和8年10月8日（木）

【その他】

*全組手競技にて、必要防具類の貸し出しはございません。（感染防止の為）選手個人又は各道場・団体毎にご用意下さい。

*参加選手の人数により部門の統廃合を行う事がありますのでご了承下さい。

*コートサイドへは選手・審判・大会役員・スタッフ・セコンド以外入場が出来ません。

（セコンドは必ずコーチタグをご着用下さい）

*選手は本人（保護者の同意）の意思決定において申込みを決定する事。

*間違った学年・種目・部門に申し込みされた場合、大会当日の変更又は出場が出来ませんのでご注意下さい。

*大会当日体調が優れない方（発熱・咳・咽頭痛・体の怠さなど）、感染症が疑われる方がご家族や身近にいる方（濃厚接触者に該当・疑いのある方）はご来場頂けません。

*選手招集時にコートに居ない場合、失格となる事がありますのでご注意下さい。

*審判・選手への野次・暴言など礼儀を欠いた言動には、その当事者のみならずその所属道場団体（師範・選手）を失格・退場とします。

*判定に対するクレームは一切受け付けません。

*審判の判断で試合の続行が不可能と判断される場合があります。

*試合での事故（怪我・死亡）は保険の範囲のみ保証し、主催者は一切責任を負いません。（スポーツ保険は各団体にて加入のこと）

*フルコンタクト部門・グローブ部門・防具付部門に出場される選手は特に試合後の飲酒は避けて下さい。

*大会会場での器物破損など、個人の責任において弁償して頂きます。

*当連盟除名処分を受けた者、暴力団や準構成員などの反社会的勢力団体・個人、又当連盟執行部により参加不適当と思われる方の参加は出来ません。

国際総合空手道連盟 全日本空手道選手権大会
種目表（フルコンタクト部門）

番号	種 目	番号	種 目
1	一般男子 上級（級・段位不問）の部（16才以上）	35	小学男子6年生 上級（級・段位不問）の部
2	一般男子 初級（5級以下）の部（16才以上）	36	小学男子6年生 初級（5級以下）の部
3	一般女子 上級（級・段位不問）の部（16才以上）	37	小学男子5年生 上級（級・段位不問）の部
4	一般女子 初級（5級以下）の部（16才以上）	38	小学男子5年生 初級（5級以下）の部
5	男子シニア 上級（級・段位不問）の部（51才以上）	39	小学男子4年生 上級（級・段位不問）の部
6	男子シニア 初級（5級以下）の部（51才以上）	40	小学男子4年生 初級（5級以下）の部
7	男子シニア 上級（級・段位不問）の部（46才～51才未満）	41	小学男子3年生 上級（級・段位不問）の部
8	男子シニア 初級（5級以下）の部（46才～51才未満）	42	小学男子3年生 初級（5級以下）の部
9	男子シニア 上級（級・段位不問）の部（41才～46才未満）	43	小学男子2年生（級・段位不問）の部
10	男子シニア 初級（5級以下）の部（41才～46才未満）	44	小学男子1年生（級・段位不問）の部
11	男子シニア 上級（級・段位不問）の部（36才～41才未満）	45	小学女子6年生 上級（級・段位不問）の部
12	男子シニア 初級（5級以下）の部（36才～41才未満）	46	小学女子6年生 初級（5級以下）の部
13	女子シニア 上級（級・段位不問）の部（46才以上）	47	小学女子5年生 上級（級・段位不問）の部
14	女子シニア 初級（5級以下）の部（46才以上）	48	小学女子5年生 初級（5級以下）の部
15	女子シニア 上級（級・段位不問）の部（41才～46才未満）	49	小学女子4年生 上級（級・段位不問）の部
16	女子シニア 初級（5級以下）の部（41才～46才未満）	50	小学女子4年生 初級（5級以下）の部
17	女子シニア 上級（級・段位不問）の部（36才～41才未満）	51	小学女子3年生 上級（級・段位不問）の部
18	女子シニア 初級（5級以下）の部（36才～41才未満）	52	小学女子3年生 初級（5級以下）の部
19	高校男子2・3年生 上級（級・段位不問）の部	53	小学女子2年生（級・段位不問）の部
20	高校男子2・3年生 初級（5級以下）の部	54	小学女子1年生（級・段位不問）の部
21	高校男子1年生 上級（級・段位不問）の部	55	幼児年長男女（級・段位不問）の部
22	高校男子1年生 初級（5級以下）の部	56	幼児年中男女（級・段位不問）の部
23	高校女子2・3年生 上級（級・段位不問）の部	57	幼児年少男女（級・段位不問）の部
24	高校女子2・3年生 初級（5級以下）の部		
25	高校女子1年生 上級（級・段位不問）の部		
26	高校女子1年生 初級（5級以下）の部		
27	中学男子2・3年生 上級（級・段位不問）の部		
28	中学男子2・3年生 初級（5級以下）の部		
29	中学男子1年生 上級（級・段位不問）の部		
30	中学男子1年生 初級（5級以下）の部		
31	中学女子2・3年生 上級（級・段位不問）の部		
32	中学女子2・3年生 初級（5級以下）の部		
33	中学女子1年生 上級（級・段位不問）の部		
34	中学女子1年生 初級（5級以下）の部		

※参加選手の人数により部門の統廃合を行う場合があります。

国際総合空手道連盟 全日本空手道選手権大会
種目表（グローブ部門・防具付部門・ノンコンタクト部門）

部門	番号	種目	部門	番号	種目
グローバル部門	58	一般男子の部 軽量級（60kg未満）	ノコンタクト部門	86	幼児男女の部
	59	一般男子の部 中量級（70kg未満）		87	小学1年男子の部
	60	一般男子の部 重量級（80kg未満）		88	小学1年女子の部
	61	一般男子の部 無差別（80kg以上）		89	小学2年男子の部
	*16才以上のみとする。			90	小学2年女子の部
防具付部門	62	幼児男女の部		91	小学3年男子の部
	63	小学1年男子の部		92	小学3年女子の部
	64	小学1年女子の部		93	小学4年男子の部
	65	小学2年男子の部		94	小学4年女子の部
	66	小学2年女子の部		95	小学5年男子の部
	67	小学3年男子の部		96	小学5年女子の部
	68	小学3年女子の部		97	小学6年男子の部
	69	小学4年男子の部		98	小学6年女子の部
	70	小学4年女子の部		99	中学男子の部
	71	小学5年男子の部		100	中学女子の部
	72	小学5年女子の部		101	高校男子の部
	73	小学6年男子の部		102	高校女子の部
	74	小学6年女子の部		103	一般男子の部（18才以上）
	75	中学男子の部		104	一般女子の部（18才以上）
	76	中学女子の部		105	シニア男子の部（40才以上）
	77	高校男子の部		106	シニア女子の部（40才以上）
	78	高校女子の部			
	79	一般女子の部（18才以上）			
	80	一般男子の部 軽量級（65kg未満）18才以上			
	81	一般男子の部 中量級（80kg未満）18才以上			
	82	一般男子の部 無差別（80kg以上）18才以上			
	83	男子シニアの部 軽量級（65kg未満）40才以上			
	84	男子シニアの部 中量級（80kg未満）40才以上			
	85	男子シニアの部 無差別（80kg以上）40才以上			

※参加選手の人数により級・段位、体重分け、部門の統廃合を行う場合があります。

国際総合空手道連盟 全日本空手道選手権大会
種目表（形部門・古武道部門）

部門	番号	種 目	部門	番号	種 目
形 部 門	107	幼児男女の部	古 武 道 部 門	128	幼児男女の部（ショート）
	108	小学1年男子の部		129	幼児男女の部（ロング）
	109	小学1年女子の部		130	小学低学年 男子の部（ショート）
	110	小学2年男子の部		131	小学低学年 女子の部（ショート）
	111	小学2年女子の部		132	小学低学年 男子の部（ロング）
	112	小学3年男子の部		133	小学低学年 女子の部（ロング）
	113	小学3年女子の部		134	小学高学年 男子の部（ショート）
	114	小学4年男子の部		135	小学高学年 女子の部（ショート）
	115	小学4年女子の部		136	小学高学年 男子の部（ロング）
	116	小学5年男子の部		137	小学高学年 女子の部（ロング）
	117	小学5年女子の部		138	中学男子の部（ショート）
	118	小学6年男子の部		139	中学女子の部（ショート）
	119	小学6年女子の部		140	中学男子の部（ロング）
	120	中学男子の部		141	中学女子の部（ロング）
	121	中学女子の部		142	高校男子の部（ショート）
	122	高校男子の部		143	高校女子の部（ショート）
	123	高校女子の部		144	高校男子の部（ロング）
	124	一般男子の部（18才以上）		145	高校女子の部（ロング）
	125	一般女子の部（18才以上）		146	一般男子の部（ショート） 18才以上
	126	シニア男子の部（40才以上）		147	一般女子の部（ショート） 18才以上
	127	シニア女子の部（40才以上）		148	一般男子の部（ロング） 18才以上
				149	一般女子の部（ロング） 18才以上
				150	シニア男子の部（ショート） 40才以上
				151	シニア女子の部（ショート） 40才以上
				152	シニア男子の部（ロング） 40才以上
				153	シニア女子の部（ロング） 40才以上

※参加選手の人数により級・段位分け、部門の統廃合を行う場合があります。

国際総合空手道連盟 競技規定
フルコンタクト部門

【防具類】 防具は全て持ち込みとなります。

○着用する △任意で着用 ×着用しない

クラス	サポーター (防具類)						
	ヘッドガード	拳サポーター	レッグサポーター	ファールカップ	アンダーガード	チェストガード	膝サポーター
幼児 (男女)	○	○	○	○	△	×	△
小学生 (男子)	○	○	○	○	×	×	△
小学生 (女子)	○	○	○	×	△	△	△
中学生 (男子)	○	○	○	○	×	×	△
中学生 (女子)	○	○	○	×	△	○	△
高校生 (男子)	○	○	○	○	×	×	△
高校生 (女子)	○	○	○	×	△	○	△
一般男子 (初級)	○	○	○	○	×	×	△
一般男子 (上級)	×	×	×	○	×	×	×
一般女子 (初級)	○	○	○	×	△	○	△
一般女子 (上級)	○	×	○	×	△	○	×
男子シニア (初級)	○	○	○	○	×	×	△
男子シニア (上級)	×	×	○	○	×	×	△
女子シニア (初級)	○	○	○	×	△	○	△
女子シニア (上級)	○	×	○	×	△	○	△

【試合時間】 ランニングタイム（流し）

クラス	試合時間		
	本戦	延長戦（準決勝まで）	再延長戦（決勝戦のみ）
幼児	1 分間（マスト）	×	×
小学生 中学生 高校生	1 分 3 0 秒	1 分間 （準決勝までマスト）	1 分間（マスト）
シニア	1 分 3 0 秒（マスト）	×	×
一般男子	2 分間	2 分間 （準決勝までマスト）	1 分間（マスト）
一般女子	2 分間	2 分間 （準決勝までマスト）	1 分間（マスト）

【有効技】

クラス	上段膝蹴り	技あり	一本
幼児	×	a. 無防備の上段に蹴りが的確に極まった時。（触れただけ・かすただけ・乗りかかったのは無効） b. 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち・膝蹴り等を瞬時に極め、相手選手がダウンしたがすぐに立ち上がった時。（3秒以内） c. 足掛け技を含め、きれいに倒した相手へ瞬時に突きによる極めを行った時技ありを取る場合もある。（直接攻撃禁止）	a. 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち・膝蹴り等を瞬時に極め、相手選手が3秒以上ダウン又は戦意を一時的に喪失した時。（すぐに立ち上がった場合は技あり） b. 技ありを二本極めた時。 c. 相手選手が失格の時。
小学生			
中学生			
高校生			
シニア			
一般男子初級			
一般女子初級	○		
一般男子上級			
一般女子上級			

【判定】 判定時、主審・副審同時上げとする。

両選手技ありの無い場合、有効打の多い方が勝ち。（ダメージ・手数・気迫を考慮する）

【反則】

- 手技による首から上への攻撃・金的への攻撃・背部への攻撃・頭突き・かけ・ひっかけ・掴み・投げ・押し（掌底・開手等）・頭・胸・お腹を付けての攻撃・倒れた相手への直接攻撃。
- 上段への膝蹴り。（※一般男子上級・一般女子上級は可）
- 故意の反則攻撃・場外の繰り返し・逃げ回る・挑発行為。

* 反則には注意が与えられる

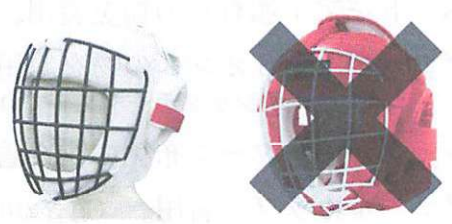
①注意 1 → ②注意 2 (減点 1) 相手に技有り → ③注意 3 → ④注意 4 (減点 2) 失格となる。

【フルコンタクト指定・推奨防具】

下記製品と同等の物であれば使用可。（イサミ・マーシャルワールドの物を推奨致します）

●ヘッドガード

識別テープ付きの物。（赤白が判別できるテープ）
白又は黒。（赤は使用不可）
ヘッドカバー付きの物。（金網・プラスチック可）
インナーシールドは任意。



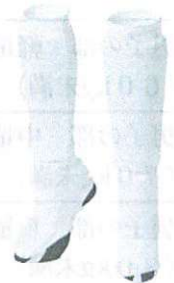
●拳サポーター

布製の物。（色指定無し）
極端に薄い物又は大きすぎる物は使用不可。



●レッグサポーター

布製の物。（色指定無し）
足甲までカバーされている物。
極端に薄い物又は大きすぎる物は使用不可。



●ファールカップ（男子）

色指定無し。
金属製カップは使用不可。
道着の中に着用。



●アンダーガード（女子）

着用は任意。
色指定無し。
道着の中に着用。



●チェストガード（女子）

小学生女子の着用は任意。（幼児女子は着用不可）
道着の中に着用。
プラスチック製板状の物、腹部までカバーする物は使用不可。



※男子は着用禁止

国際総合空手道連盟 競技規定
グローブ部門

【防具類】 防具類は全て持ち込みとなります。

- ヘッドギア：顎有りの物を着用。
- グローブ：16オンスの物を着用。※バンテージ使用不可。
(マジックテープタイプの物を推奨します)
- レッグサポーター：布製の物を着用。(足甲までカバーされている物)
- ファールカップ：着用。(道着の中に着用)
- マウスピース：着用。



【試合時間】 ランニングタイム (流し)

クラス	試合時間		
	本戦	延長戦	再延長戦 (決勝戦のみ)
一般男子の部 軽量級 (60kg未満)	2分間	1分間 (準決勝までマスト)	1分間 (マスト)
一般男子の部 中量級 (70kg未満)	2分間	1分間 (準決勝までマスト)	1分間 (マスト)
一般男子の部 重量級 (80kg未満)	2分間	1分間 (準決勝までマスト)	1分間 (マスト)
一般男子の部 無差別 (80kg以上)	2分間	1分間 (準決勝までマスト)	1分間 (マスト)

【有効技】

- 上段・中段への突き、上段・中段・下段への蹴り。(膝蹴り有効)
- 技あり
 - a. 突き・蹴りによる攻撃で相手を一時的にダウン(3秒以内)させた時。
 - b. 倒れはしないが一方的に連打を入れた時、技ありを取る場合がある。
- 一本勝ち
 - a. KO。
 - b. 突き蹴りによる攻撃で3秒以上ダウンさせた時。
 - c. 技あり2本。

【判定】 判定時、主審・副審同時上げとする。

両選手技ありの無い場合、有効打の多い方が勝ち。(ダメージ・手数・気迫を考慮する)

【反則】

- a. 肘打ち・掌底・鉄槌打ち・手刀打ち・押し・投げ・掴み・頭突き・金的への攻撃・関節蹴り・背部への攻撃・相手を掴みでの膝蹴り。(片手による瞬時の掛けは可)
- b. 故意の反則攻撃・場外の繰り返し・逃げ回る・挑発行為。

*反則には注意が与えられる

①注意1 → ②注意2(減点1)相手に技有り → ③注意3 → ④注意4(減点2)失格となる。

国際総合空手道連盟 競技規定
防具付部門

【防具類】 防具類は全て持ち込みとなります。

- 面：Kプロテクター・空道ヘッドガード。
- 胴：Kボディープロテクター。（又は同等の物）
- 拳サポーター：布製の物を着用。**※寸止め用拳サポは使用不可**
（全日本硬式空手道連盟公認拳サポ・空道フィストガードを推薦します。色指定無し。）
- レッグサポーター：布製の物を着用。
（足甲までカバーされている物、色指定無し）**※寸止め用は使用不可**
- ファールカップ：着用。（道着の中に着用、女子アンダーガードは任意）
- マウスピース：任意。



【試合時間】 ランニングタイム（流し）

クラス	試合時間		
	本戦	延長戦	再延長戦（決勝戦のみ）
幼児	1 分間	1 分間 （先取り一本・マスト）	×
小学生	1 分 3 0 秒	1 分間 （先取り一本・準決勝までマスト）	1 分間 （先取り一本・マスト）
中学生			
高校女子			
一般女子			
シニア			
高校男子	2 分間	1 分 3 0 秒 （先取り一本・準決勝までマスト）	1 分 3 0 秒 （先取り一本・マスト）
一般男子			

【得点】 引き・残心が無い技、相打ちは無効

●有効（1ポイント）

上段（ポリカー面部分）・中段（胴部分）への突き・打ちが的確に極まった時。
（フック・バックハンドブロー・裏拳打ち 有効）

●技有り（2ポイント）

中段（胴部分）への蹴りが的確に極まった時。
下段への回し蹴りが的確に極まり、相手が崩れる又は動きが止まった時。

●一本（3ポイント）

上段（ポリカー面部分）への蹴りが的確に極まった時。
的確な打撃により相手がダウンした時。

【判定】 8ポイント先取り

- a. ポイントの多い方を勝ちとする。
 - b. 同点の場合は延長戦を行う。（先取り一本）
 - c. 延長戦で同点の場合は判定を行う。（マストシステム）
 - d. 再延長戦（決勝戦のみ）で同点の場合は判定を行う。（マストシステム）
 - e. 判定は攻撃の多い方を勝ちとする。（手数・気迫・得点部位への正確な攻撃・テクニックなどを考慮する）
-

【場外】

- a. 両足が場外ラインから出た時。
 - b. 場外は1度目から相手へ有効。（1ポイント）
-

【反則・禁止事項】 ※軽度なものに対しては口頭で注意する場合は有る。

喉への突き・耳へのフック・掌底突き・開手による攻撃・アッパー・振り回す突き・肘打ち・背面への攻撃・掴み・押し・故意の投げ・倒れた相手への直接攻撃・金的（股間部）への攻撃・関節技・膝蹴り・執拗な下段蹴り・故意の反則攻撃・場外の繰り返し・逃げ回る・挑発行為・道着の袖、裾まくり。

***反則には注意が与えられる**

1. 注意 1（1回目）→ 2. 注意 2（2回目）→ 3. 注意 3（3回目）→ 4. 反則注意（4回目 相手へ技有り2ポイント）→ 5. 反則（5回目 当該試合のみ反則負けとなる）

【反則に対する注意・失格について】

反則の回数に関わらず1回目から「反則注意」が与えられる場合は有る。又、試合中に審判に従わない、悪意のある反則行為をした場合、反則の回数に関わらずその場で失格となる。

国際総合空手道連盟 競技規定
ノンコンタクト部門

【防具類】 防具類は全て持ち込みとなります。

- 面：メンホー着用。
- 拳サポーター：着用。（赤・青 両方をご用意下さい）
- レッグサポーター：シン・インステップガード、又は
コンビネーションキックを着用。（コンビネーションキックを
使用される場合は赤・青 両方をご用意下さい）
*甲あて（インステップ）着用は任意。
- ファールカップ：着用。（道着の中に着用、女子アンダーガードは
任意）
- ボディプロテクター：任意。（着用する場合は道着の中に着用）
- マウスピース：任意。



※一般男子・一般女子は面無し。

（拳サポーター・レッグサポーター・ファールカップのみ着用、女子アンダーガードは任意）

【試合時間】 フルタイム

クラス	試合時間	
	本戦	再試合
幼児	1 分間	1 分間（マスト）
小学生	1 分 3 0 秒	1 分間（マスト）
中学生		
高校女子		
一般女子		
シニア		
高校男子	2 分間	1 分間
一般男子		

【得点】 引き・残心が無い技、相打ちは無効。

●有効（1ポイント）

- a. 中段・上段への突き・打ちが的確な距離で極まった時。（裏拳打ち有効）
- b. 崩れた相手への中段・上段突きが的確な距離で極まった時。

●技有り（2ポイント）

- a. 中段への蹴りが的確な距離で極まった時。
- b. 下段回し蹴りが的確な距離で極まり相手の動きが一時的に止まった時。（けん制的な技の繋ぎとして使用可）

●一本（3ポイント）

- a. 上段蹴りが的確な距離で極まった時。
- b. 足払いにより倒した相手、又は倒れた相手への突き・蹴りが的確な距離で極まった時。

【得点距離】

- 幼児～中学生 0～3 cm (顔面・頭部・頸部へのコントロールされたコンタクト)
- 高校生・一般・シニア 0～1 cm (顔面・頭部・頸部へのコントロールされたコンタクト)

【得点部位】

顔面・頭部・頸部・胸部・腹部・背部・脇腹・下段 (けん制的な技の繋ぎとしての回し蹴り)

【判定】

- 幼児～中学生・高校女子・一般女子・シニア = 6 ポイント差で勝ちとなる。
- 高校男子・一般男子 = 8 ポイント差で勝ちとなる。

- a. ポイントの多い方を勝ちとする。
- b. 同点の場合再試合を行う。再試合で同点の場合判定を行う。(マストシステム)
- c. 判定は攻撃の多い方を勝ちとする。(手数・気迫・得点部位への正確な攻撃・テクニックなどを考慮する)

【反則】

得点部位への過度の接触 (コントロールされていない技)・掌底突き・開手による攻撃・バックハンドブロー・掴み・押し・危険な投げ・倒れた相手への直接攻撃・金的 (股間部) への攻撃・執拗な下段蹴り・関節蹴り・膝蹴り・故意の反則攻撃・場外の繰り返し・逃げ回る・挑発行為。

1. 注意 1 (1回目) → 2. 注意 2 (2回目) → 3. 注意 3 (3回目) → 4. 反則注意 (4回目 相手へ技有り 2 ポイント) → 5. 反則 (5回目 当該試合のみ反則負けとなる)

【反則に対する注意・失格について】

反則の回数に関わらず 1 回目から「反則注意」が与えられる場合がある。又、試合中に審判に従わない、悪意のある反則行為をした場合、反則の回数に関わらずその場で失格となる。

【足払いについて】

対戦者の足を自分の足で直接払う。(膝より下の部分の前後左右可)

投げ技は 2 種類に分けられる。出足払い・小内刈りなど、空手の伝統的な足払いで相手を片手又は両手で瞬時に掴んで投げる技は認められるが、投げる時の支点は投げる人の腰の高さより上であってはならず、安全な着地ができるように相手を支えていなければならない。又、肩越しに投げる巴投げ・朽木倒し・足を持つての投げは禁止する。このような投げは結果競技者が負傷した場合、主審はウォーニング又はペナルティを課す事が出来る。

国際総合空手道連盟 競技規定 形部門

【形規定】

●予選～準々決勝

平安・ピンアン・撃砕・普及型を使用する。（準々決勝までは基本形のみ使用可）

●準決勝～決勝

自由形を使用できる。（準決勝からは基本形・自由形どちらでも良い）

- 試合毎（演武毎）に使用する形を変えても良い。
- 試合毎（演武毎）に同じ形を繰り返し使用しても良い。
- 創作形・中国拳法の形は使用不可。
- 入退場時の礼法は別紙『形競技礼法』をご確認下さい。

【判定基準】

●技術面

- 技及び立ち方の正確性
- 正確なタイミング（同時制）
- 極め・流れるような動き
- バランス
- 正確な着眼
- 集中力
- 技の難易度
- 正確な呼吸

●競技面

力強さ・スピード・リズム・緩急・気迫。

●一致制

演武する形本来の理解度及び、各流会派の基準・特徴に従っているか。

【判定】

- フラッグ制で3～5名の審判により行う。（判定に引き分けは無い）
- 予選～準々決勝で自由形を使用した場合失格となりますのでご注意ください。

※予選で使用可能な形を指導されていない道場については、
事前（申込時）に使用する形を申告する事を条件に他の形の使用を認めます。
事前申請がない場合、失格となります。

国際総合空手道連盟 競技規定
古武道部門

【使用武器】

- ショート
ヌンチャク・釵・トンファー・鎌・鉄甲。（手裏剣・鎖鎌は不可）
- ロング
棒・櫓（エーク）・杖

※ショート・ロングともに武器を投げつける（飛ばす）形は使用禁止。

【形規定】

- 予選～決勝
自由。
- a. 試合毎（演武毎）に武器を変えても良い。
 - b. 試合毎（演武毎）に使用する形を変えても良い。
 - c. 同じ形を繰り返し使用しても良い。
 - d. 創作形・中国拳法の形は使用不可。
 - e. 入退場時の礼法は別紙『形競技礼法』をご確認下さい。
-

【判定基準】

- a. 武器のコントロール精度
 - b. 技及び立ち方の正確性
 - c. 正確なタイミング（同時制）
 - d. バランス
 - e. 極め・流れるような動き
 - f. 正確な着眼
 - g. 集中力
 - h. 技の難易度
 - i. 正確な呼吸
 - j. 力強さ・スピード・リズム・緩急・気迫
-

【判定】

フラッグ制で3～5名の審判により行う。（判定に引き分けは無い）

全部門 共通事項

【防具類について】

- 防具の貸出しはございません。（感染防止の為）
必要防具は全て選手個人、又は各道場・団体毎にご用意下さい。
万が一忘れた場合、又指定の物と違う場合失格となる事が有りますのでご注意下さい。
（同門同士での防具の貸し借りは各道場・団体で責任を持って行って下さい）
 - 赤紐（赤・青（白）判別用）はこちらで用意致します。
-

【場外について】

- 全組手部門
両足がコートライン（場外ライン）から出た時。
 - 形・古武道部門
演武中、コート外枠の赤部分（場外ライン）を越えても判定に影響は無い。
-

【テーピング・バンテージについて】

- 使用不可。（テーピングはドクターの許可があれば必要最小限の使用可）
-

【Tシャツについて】

- 男子の道着下のTシャツ着用は禁止。（但し特別な事情のある方は、事前に大会事務局までお申し出下さい。）女子は着用する場合白色（又は白に近い色）の物を着用下さい。
-

【アクセサリー・刺青について】

- 全競技において安全の為、アクセサリーやその他相手に危険を及ぼす様な物の着用は禁止となります。（金属製の物・ミサंगा等）
- 刺青・タトゥーのある選手は露出の無いようお願い致します。

形競技礼法（入退場）

試合を始める時



赤と青に分かれて整列。
主審の合図で「正面に礼」



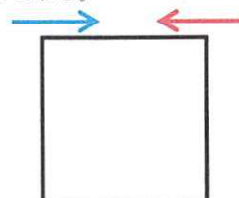
次に「お互いに礼」



名前を呼ばれたら境界線上
を歩き開始線位置まで来る。



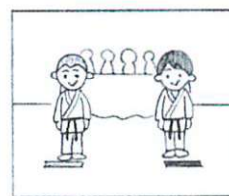
まず「正面に礼」



形が終わったら



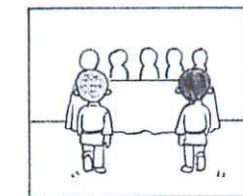
次に「お互いに礼」



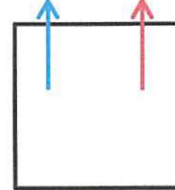
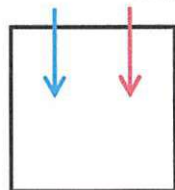
開始線に来て礼。
赤の選手から形の名前を言う。
主審の合図で形を始める。



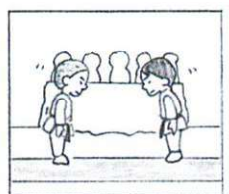
形が終わったら開始線に
戻り、両選手が終わったら
「礼」



回れ右をしてコートの外
へ出る。



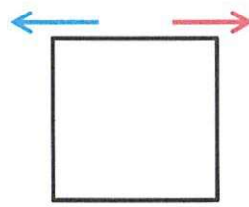
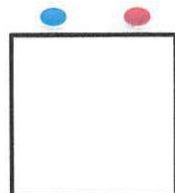
判定を待つ。



「赤（青）の勝ち」と勝敗が
決まったら「お互いに礼」



「正面に礼」をして退場。



試合終了、区切りの時



「お互いに礼」



「正面に礼」

*スムーズに形試合を進める為にもこの礼法を覚えて入退場を行って下さい。
(入退場は間違えても減点とはならない。)